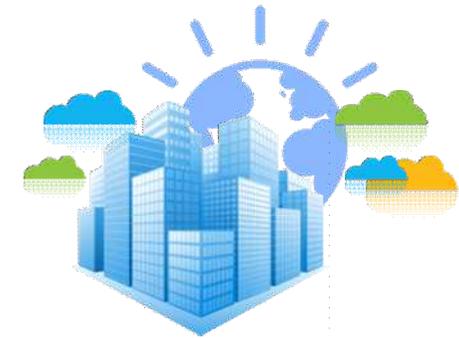


今こそクラウドで考える 災害対策ソリューション



日本アイ・ビー・エム株式会社
クラウド&スマーター・シティ事業
ソリューション事業部長
理事 小池 裕幸





本日のアジェンダ

- ☑ 想定を超えた東日本大震災
- ☑ 震災ではクラウドが活躍
- ☑ 節電、事業継続に効くクラウド
- ☑ 在宅勤務を支えるクラウド
- ☑ まとめ



本日のアジェンダ

- ☑ 想定を超えた東日本大震災
- ☑ 震災ではクラウドが活躍
- ☑ 節電、事業継続に効くクラウド
- ☑ 在宅勤務を支えるクラウド
- ☑ まとめ

IBM クラウドを3ヶ月無償提供、被災地支援を即座に発表、提供開始

2011年3月13日

東北地方太平洋沖地震対策に
IBM Smart Business Cloudを無償提供

日本IBM(社長・橋本孝之、NYSE:IBM)は、東北地方太平洋沖地震の影響により、公共性の高い緊急情報提供向けサーバーを必要とする、地方公共団体、社会貢献活動や慈善活動を行う非営利団体等を対象に、復興ご支援を目的として、必要なサーバー資源をIBMの海外のクラウド・データセンターを利用し、当面、3ヶ月間無償で提供する「東北地方太平洋沖地震対策 IBM Smart Business Cloud 無償提供プログラム」を本日から開始します。本プログラムでは、現在の日本国内の電力供給の状況を鑑み、米国、ドイツ、カナダにある複数の海外のIBM クラウド・センターから、緊急情報提供向けに仮想サーバーをご提供します。

2011年3月14日

東北地方太平洋沖地震対策に
LotusLiveを無償提供

日本IBM(社長・橋本孝之、NYSE:IBM)は、東北地方太平洋沖地震への復興を支援する、「東北地方太平洋沖地震対策 LotusLive 無償提供プログラム」を発表します。被災地での活動において、情報共有やメールの手段が必要な組織(地方公共団体、社会貢献活動や慈善活動を行う非営利団体等)を対象に、活動のご支援を目的として、Webブラウザのみで利用可能なLotusLiveのコラボレーションやメール機能を各組織に対して3ヶ月間の無償での使用を本日から提供開始します。

活用例

ライフライン情報確保の支援

1. 文部科学省様(放射能情報)
2. 東京都健康安全研究センター様(東京都放射線情報)
3. 東京電力様(計画停電情報)
4. 浦安市様(災害情報)
5. 広島大学(放射能情報)

災害情報支援、情報共有サービスの提供

避難者管理情報サイト

安否情報確認サイト

東日本大震災協働情報プラットフォーム

医療団体の輸血用血液情報共有コミュニケーション

Twitter 情報解析で、医薬品不足と在庫状況のマッチング

SAHANA – オープンソース災害時救援情報共有システム

SAHANA



SAHANA
サハナ|フリー(自由)・オープンソース災害時救援情報共有システム
Free and Open Source Disaster Management System

SAHANA(サハナ)は災害時における混乱した情報を整理、集約し、被災者・グループ・行政が正しい情報を共有するためのウェブベースのシステムです。

SAHANAの特徴

- ▶ハイチ地震など世界各地の被災地で利用
- ▶オープンソース(MITライセンス)

注目! Sahana日本語化プロジェクト 協力者募集中!
詳しくはブースにてお尋ねください。

Sahana日本語化プロジェクト/ひょうごんテック

	SAHANA foundation
種別	Open Source Web Application
実績	四川大地震、ハイチ地震、チリ津波 等
日本組織	ひょうごNPO情報通信技術支援ネットワーク(ひょうごんテック) http://tcc117.org/hyogontech/about
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> • 応急復旧期対応システム • ボランティア活動者の登録・配置・作業管理 • ボランティア活動者による被災状況の登録と共有 • 支援物資の要求・供給の管理と共有 • 避難所の情報管理・共有 • 安否情報の検索と登録 • 医療施設による要求とリソースの管理と共有 • 地理情報との連携による道路・建物などの被災状況の登録と共有 • 建造物の初期安全性アセスメント • ボランティア活動者どうし/行政側担当者のコミュニケーション



SAHANA

継続的な災害復興のための情報の統合管理とコラボレーションを実現



東日本大震災後のお客様支援ソリューションを体系化

節電

- 事業所（店舗・工場・オフィス）とデータセンターの節電対策支援
 - 電力見える化ソリューション
 - サーバーの省電力、データセンター移転
 - データセンター統合、開発テストなどのクラウド活用

事業継続 回復

- 危機管理・事業継続のための計画策定、実行支援
ITの災害対策計画、実行支援
 - IBMグローバルの事業継続・回復フレームワーク提供
 - IBM自身の危機管理体制
 - 本社機能分散化、復旧システムの構築、運営等

在宅勤務

- IBMの10年にわたる在宅勤務制度の経験を活用し
制度設計からインフラ導入までの包括的サービスを提供

グローバル 風評分析

- テキスト言語の解析ツールを活用し、ネットメディアでの自組織や事業に関する風評を分析、その対策立案と実行を支援



本日のアジェンダ

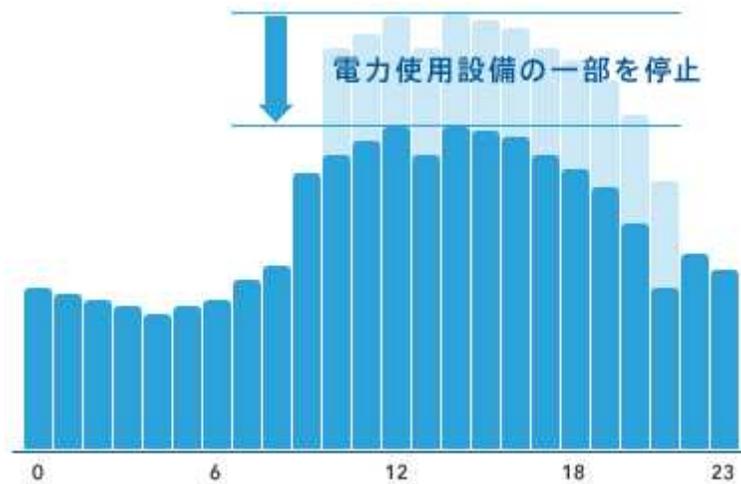
- ☑ 想定を超えた東日本大震災
- ☑ 震災ではクラウドが活躍
- ☑ 節電、事業継続に効くクラウド
- ☑ 在宅勤務を支えるクラウド
- ☑ まとめ



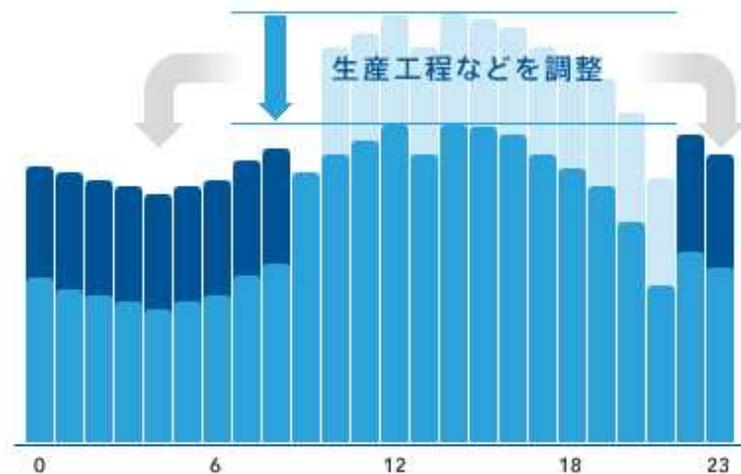
クラウド活用で夏を電力不足を乗り切ろう！

各社の節電施策とクラウド活用

電力需要
総量削減



時間的
シフト
時間帯
曜日



- 夏の節電期間、IT機器の一部を停止・削減し、開発テストをはじめ、クラウド活用で業務継続
クラウドなら必要なときに必要なだけ利用可
- 自家発電機の導入
クラウド活用なら自前で用意する必要無し
- 生産能力、会社機能の西日本へのシフト
クラウド活用で新規投資負担を軽減
- 輪番休業の設定
- 夏季休暇の長期化
- サマータイムの導入
- 様々な在宅勤務形態をクラウド活用で支援
部署、事業所単位で出勤日を分ける輪番型
早朝～昼勤務、午後のピーク時は在宅の半日型
一時的に冷房不要の場所への移転型

IBM Smart Business Cloud – Enterprise、R1.4 で更に機能拡張 (2011年4月) OS込みで1時間10円を、技術力で実現したIBMクラウド

迅速、低コスト、簡単運用!
スピード経営を実現するIBMクラウド

→ IBM Smart Business Cloud
企業向けパブリック・クラウドの決定版、業界をリード!

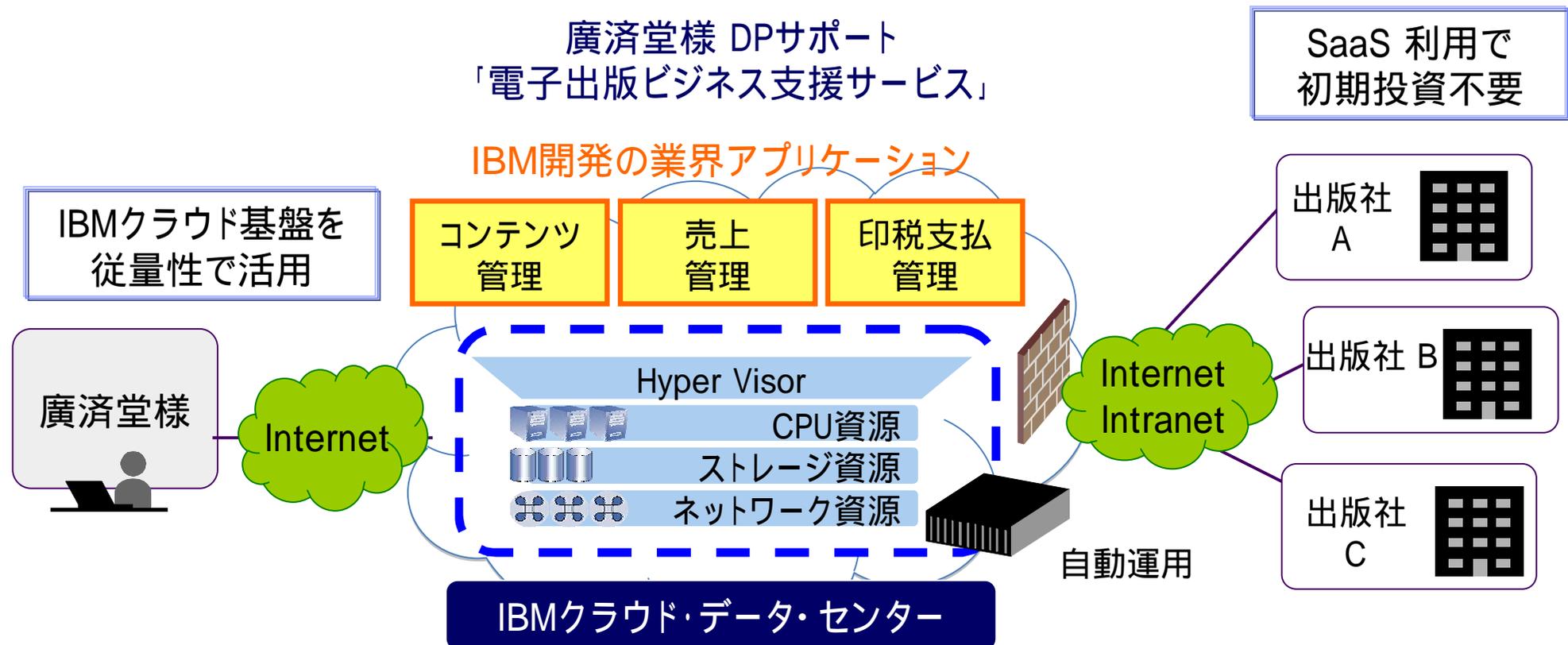
最新ニュース: Chanceプロジェクト向けクラウド環境を構築

- 震災に関する支援と対応について
- 迅速、低コスト、簡単運用! IBM Smart Business Cloud
- デスクトップ・クラウドで節電、事業継続強化に対応



廣濟堂様、他社より早い新規事業参入 ~ Quick Start Cloud

- ☑ 先行き不透明な電子書籍市場へ、複数の出版社向けに SaaS で関連サービスを提供
- ☑ IBM クラウド活用で、インフラ投資が不要。アプリ開発に専念し、他社より先にサービス・イン
- ☑ Powered by IBM - IBM ブランドのクラウドで安心。海外データセンター利用も視野



J建築検査センター様: 日本初の建築確認検査クラウド・サービスを提供

☑ お客様の課題

- ・建築確認検査申請作業の負荷が大
- ・管理システム開発の開発コスト負担

☑ ソリューション

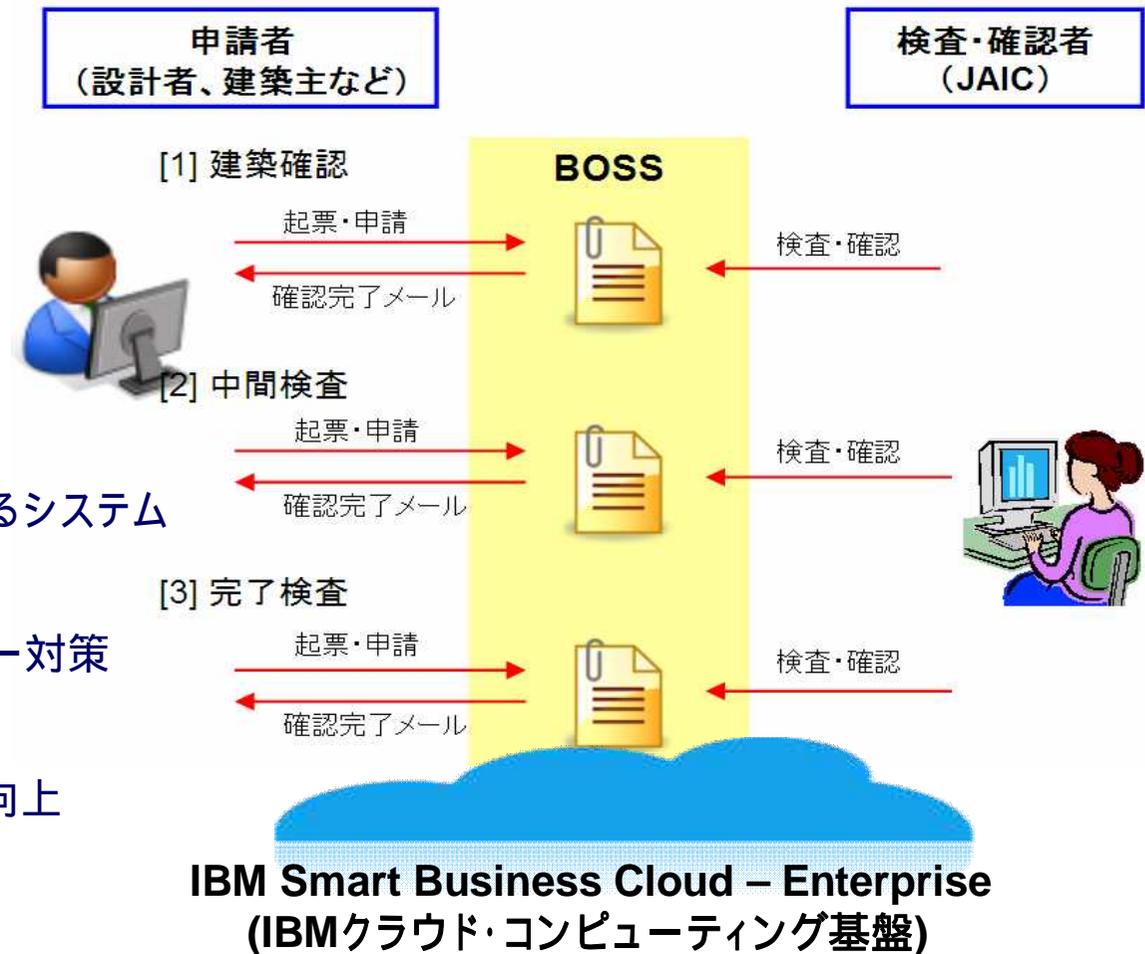
- ・IBMクラウド・コンピューティング基盤を活用
- ・申請書類の作成・提出をネット経由で行えるシステム

☑ 採用のポイント

- ・初期投資の負担低減と強固なセキュリティー対策

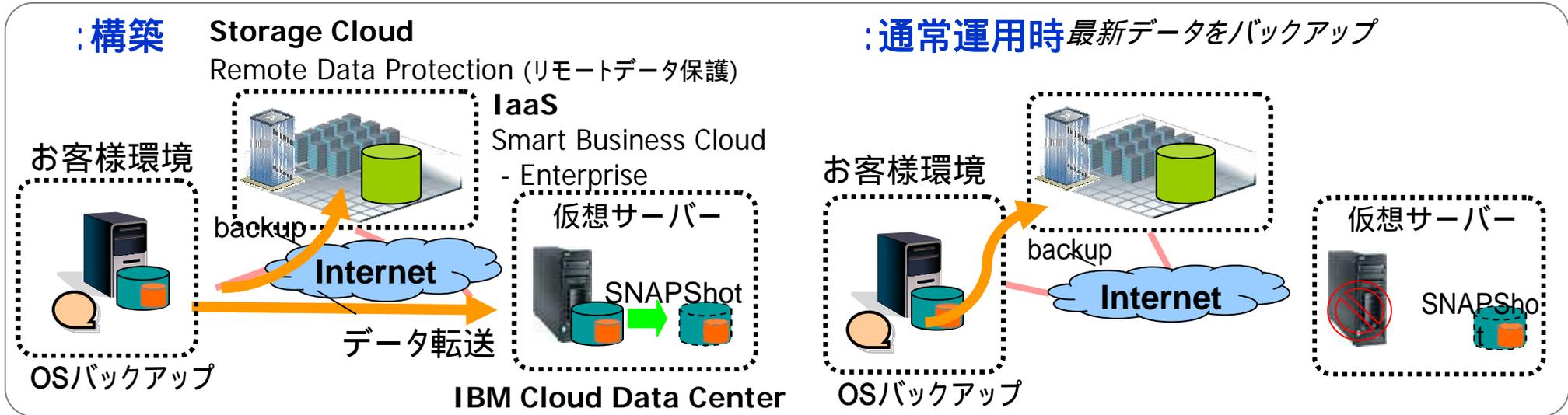
☑ 導入効果

- ・業務負荷の低減および利用者サービスの向上



IBM クラウド活用による事業継続強化

(IaaS : IBM Smart Business Cloud – Enterprise + Storage Cloud : IBM Remote Data Protection)



被災時も最新データおよびクラウド環境により、ビジネスを継続

節電・事業継続に、海外のIBM データセンターを活用

IBM Centers Deliver & Manage Cloud Services Around the World

IBM Worldwide Support Centers
6 Cloud Data Centers
11 Cloud Labs
57 Global Delivery Centers
54 Global Command Centers



Smart. Secure. Ready for Business

IBM クラウドは、世界最高レベルのセキュリティーを提供

IBM X-Force



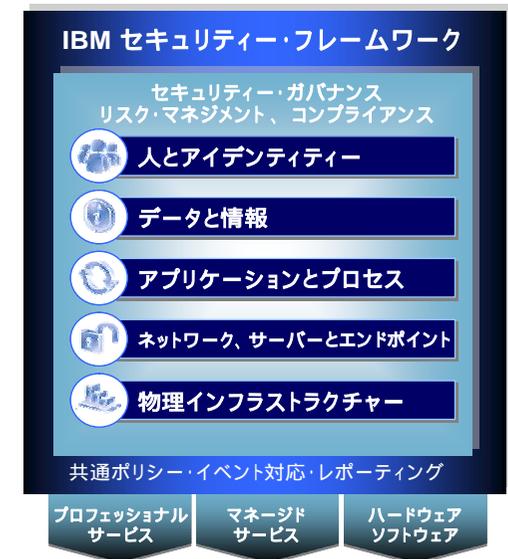
世界最大級の
民間セキュリティー研究開発組織

IBM セキュリティー・ オペレーション・センター



世界9拠点・サービス提供133カ国

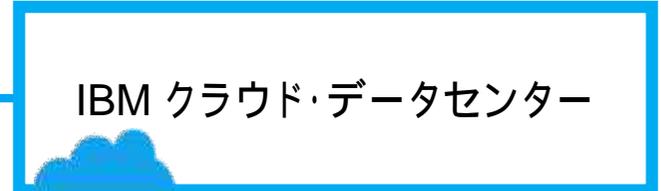
IBM セキュリティー・ フレームワーク



最新のセキュリティー・パッチ適用



IPS (不正侵入防御装置)



インターネットの世界は様々なリスクが
自前でシステムを組んでも危険な場合も

IBM MCCS (Managed Cloud Computing Services)

実績が違うIBMのパブリック・クラウド
節電、事業継続強化に対応

→ 安定稼動を支える基本運用サービス込みで
従量制課金のIBM MCCSクラウド・サービス

今を乗り越えるための
4つのソリューション

実績が違うIBM MCCS
選ばれたパブリック・クラウドとは

「真のグローバル化」で
しなやかで強い経営基盤を

IBM MCCS 関連プレスリリース

- 日本初、放送業界向けクラウド環境を構築 -合併で新会社設立-
- 日新製鋼のサーバー統合共通基盤にクラウド・サービスを提供
- 日本IBM、ノリタケカンパニーとの戦略的アウトソーシング契約を更改
- オリンパスシステムズ、小売業界特化型基幹業務システムをクラウドで提供
- 千趣会、ベルメゾンネットにIBMのクラウド・サービスを採用
- 日本海事協会、安全で環境に配慮したシップリサイクルをクラウドで支援
- IT資源を従量制で提供する新たなパブリック・クラウド・サービス

既に多くのお客様で
本番システムに採用
定評のあるクラウド

使用量の上下動に、従量制課金のクラウド活用で想定外にも対応

千趣会、IBMのクラウド活用で コスト削減と会員サービス向上を実現

→ 急増するネット通販に、拡張性、柔軟性で応える
IBM MCCS クラウド・サービス

千趣会、ベルメゾンネットに
IBMのクラウドを採用

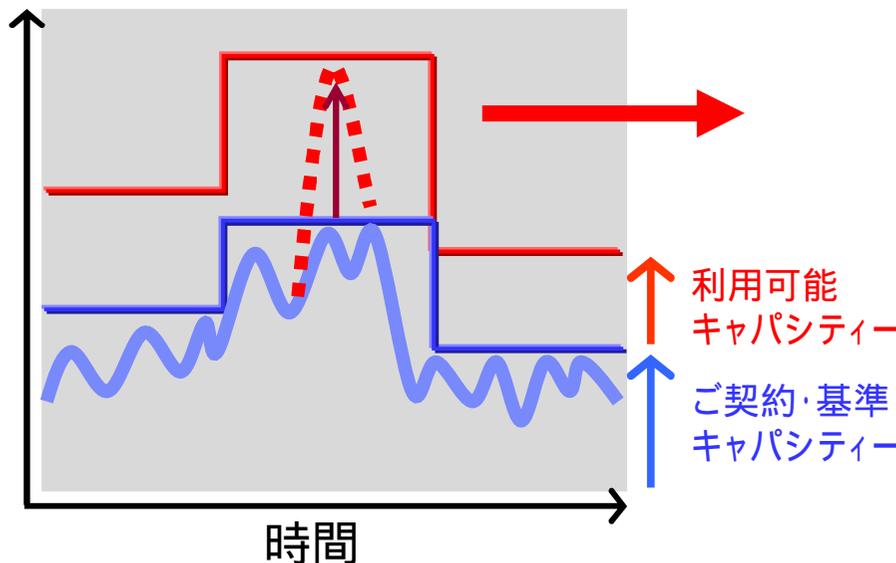
コンピューターを「再定義」した
IBM zEnterprise System

次世代Cognosの全貌 -
11月17日のイベントで明らかに



千趣会 CIO 田川専務
(日経情報ストラテジー
JUNE 2011)

IT資源量



- ☑ ピーク時の急な利用増にも
安心の4倍バースト・キャパシティー
 - 従来のアクセス制限による
ビジネス機会損失を回避
- ☑ 月毎の利用量に応じて、IT資源調達
 - 3年間で、20%以上の
コスト削減を見込む
- ☑ 運用も任せて安心
 - 自前の節電、停電対策不要



本日のアジェンダ

- ☑ 想定を超えた東日本大震災
- ☑ 震災ではクラウドが活躍
- ☑ 節電、事業継続に効くクラウド
- ☑ 在宅勤務を支えるクラウド
- ☑ まとめ

在宅勤務 - IBMの考える解決の方向性

- ☑ 想定外の事態に対応できる柔軟な業務形態の実現のためには
社内オフィスと変わらないレベルで社員が業務に取り組める環境を
総合的に整備し、**普段より活用していくことが重要**

柔軟な業務形態（在宅勤務）を実現するために必要な3要素

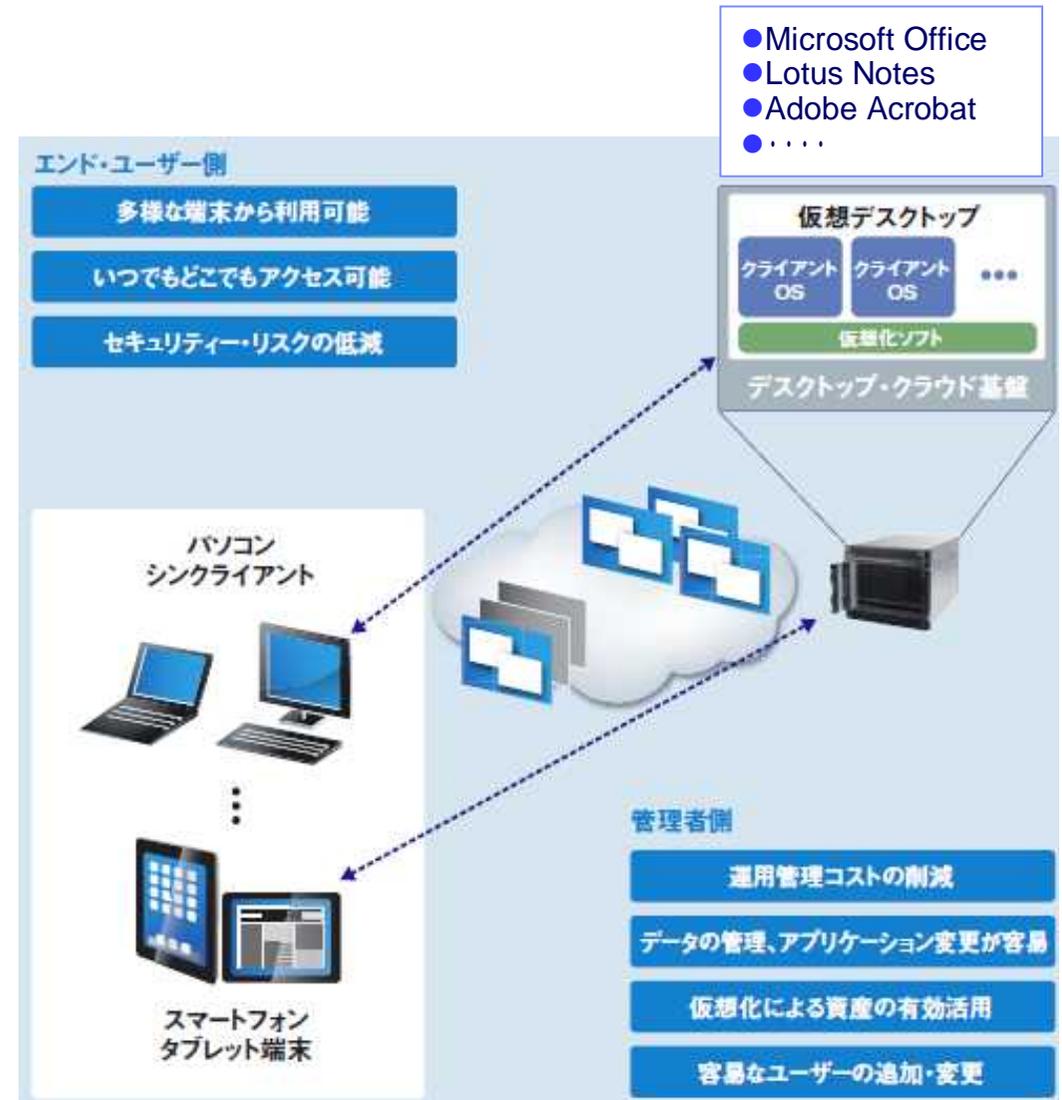
在宅勤務制度・ ガイド・ルールの整備	<ul style="list-style-type: none">•在宅勤務制度や就業規則、勤務管理などの人事制度上の整備•新たな働き方を実現するためのガイド・FAQ整備や社員向けトレーニングの実施
遠隔地間での 会議・打ち合わせ 環境の整備	<ul style="list-style-type: none">•オフィス外や社員が異なる場所で勤務していたとしても会議や打ち合わせなどの双方向コミュニケーションが効果的に行える仕組みの構築
オフィス外から 社内システムを利用 する仕組みの整備	<ul style="list-style-type: none">•自宅などのオフィス外からでも、インターネット経由で社内システムにアクセスし、通常業務を安全かつ円滑に行える仕組みの構築 (デスクトップ・クラウド)

いつでもどこでも事業継続！ デスクトップ・クラウドで、夏の節電、迅速な事業継続強化を



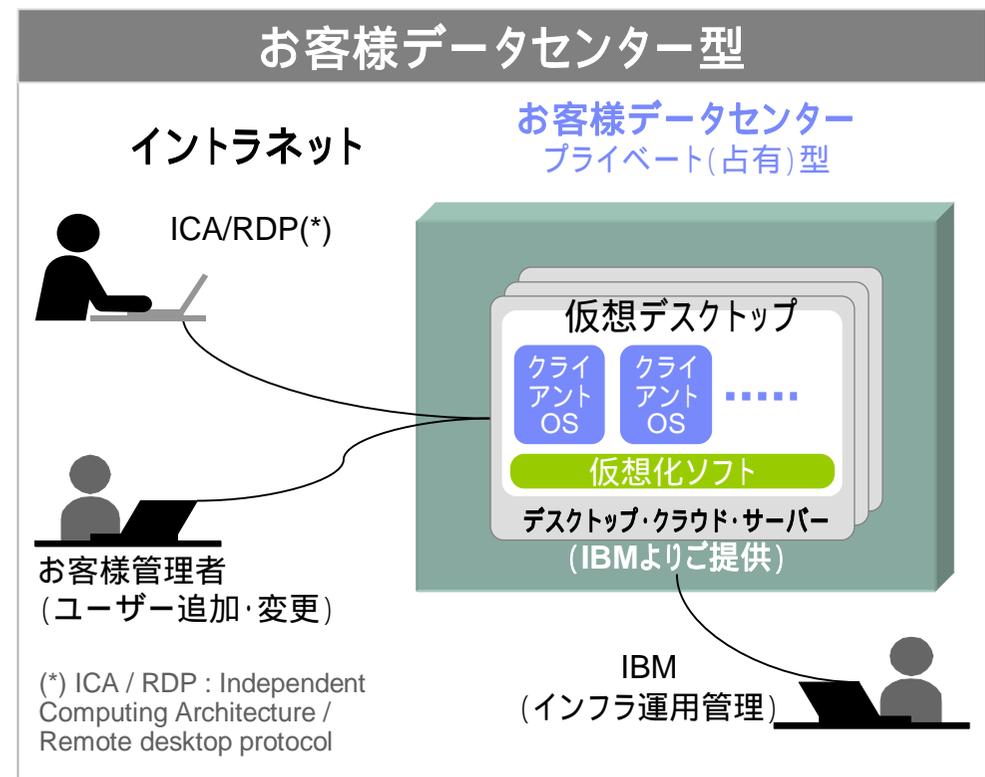
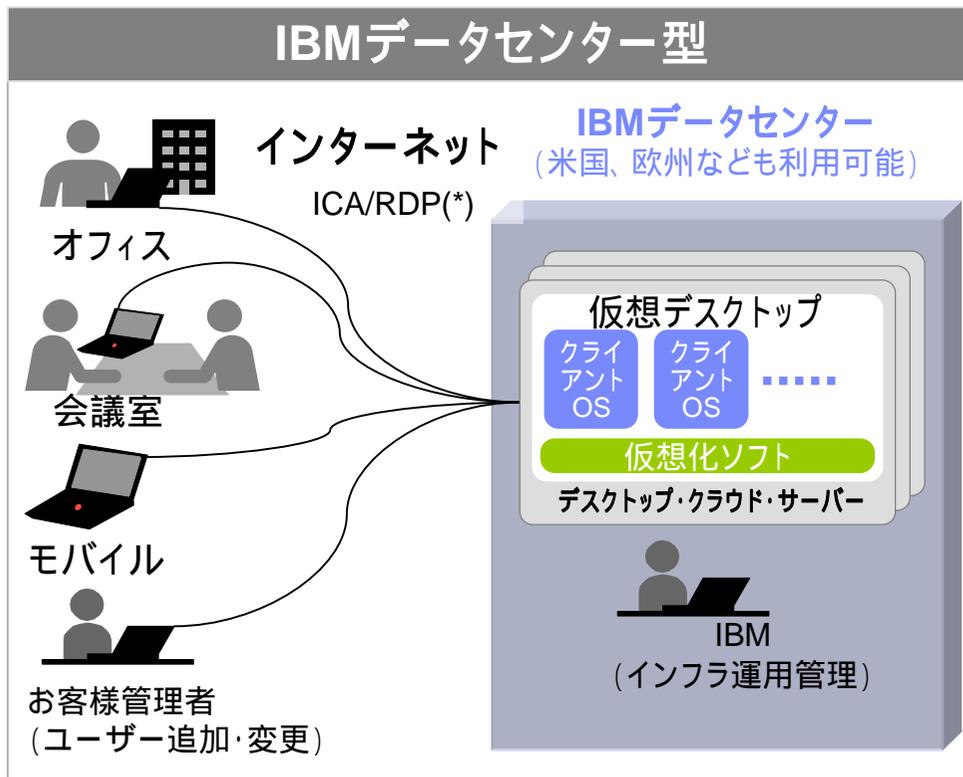
デスクトップ・クラウド関連プレスリリース

- 金沢工業大学、クラスルーム端末にデスクトップ・クラウドを活用
- 福井大学医学部附属病院の新総合医療システム構築を開始
- 巣鴨信用金庫、デスクトップ・クラウドでセキュリティと運用効率性を向上
- 太陽生命、中国での開発・テスト用にデスクトップ・クラウドを活用
- 国分、デスクトップ・クラウドを活用し、事業継続を強化
- 三菱東京UFJ銀行、デスクトップ・クラウドを構築、グループ会社へ展開
- 日本信用情報機構、仮想デスクトップを採用し、ガバナンスを強化



選べる2つのパブリック型デスクトップ・クラウド 在宅勤務でまだ間に合う夏の節電、事業継続

- ☑ 企業のお客様のPC環境を、セキュアなデスクトップ・クラウドで実現
- ☑ ベンダーに個人情報を開示せずに、お客様自身でユーザーの追加・変更が可能



月額2,960円 / 仮想クライアント(税別, 5年契約の場合)

2011年6月現在の価格、今後予告無く変更の場合があります。

単なるシンクライアントの導入ではない、IBMのデスクトップ・クラウド クライアントからネットワーク、サーバーまで考慮したシステム設計・構築

クライアント	ネットワーク	サーバー			
		接続管理	統合・仮想化	ファイル	ユーザー管理

- 多様な端末ニーズのサポート
 - PC (Windows/Mac)
 - Thin client (Wyse)
 - iPhone/iPad, Android



• ストームの発生対策

- セキュリティ・ポリシーの定義と適用

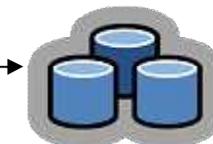
- Microsoft Office
- Lotus Notes
- Adobe Acrobat
- ……



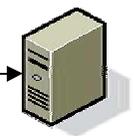
ESX Server



- パフォーマンス維持、障害対策
- アプリケーションのライフサイクル管理
- 利用の少ない夜間リソースの有効利用
- 標準化、運用コストの削減



- バックアップ
- 二重化
- 移行計画

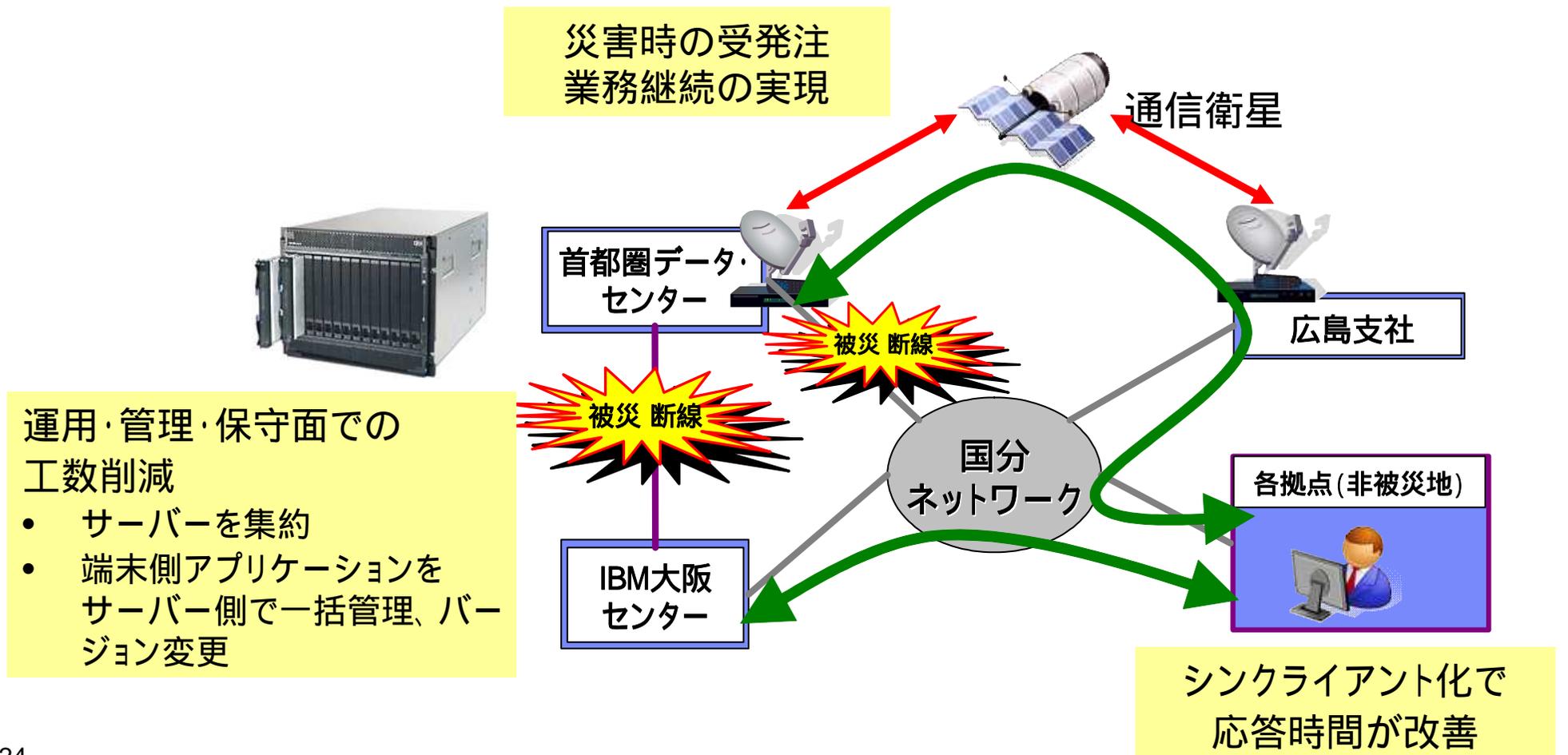


- ユーザー・グループ定義
- ユーザー権限管理

最適な仮想化ソフトを組み合わせ、大規模システムでもパフォーマンスを維持

国分様、デスクトップ・クラウドで事業継続力を強化

- IBMの実績に基づくアーキテクチャをベースに、最適な仮想化システムを設計
- 仮想デスクトップ環境をカスタマイズすることで、現行アプリケーションの大半を踏襲
- VMware ESXの上で、Citrix XenAppを稼働させ、サーバーを集約



太陽生命様、海外での開発にIBM のデスクトップ・クラウドを採用

太陽生命のオフショア開発 クラウドで高セキュリティーを実現

→ デスクトップ・クラウドでクライアント環境の
仮想化に成功したT&D情報システム



IBMの豊富なデスクトップ・
クラウドの実績で安心を



コンピューターを「再定義」した
IBM zEnterprise System



早期ROIを実現するための
ホワイトペーパー提供中



- Wyse シンクライアント端末で、開発時の情報漏えい防止等の**セキュリティーを強化**
- クライアント仮想化はCitrix を活用、ICAプロトコルで**画面転送時の遅延を最小化**
- サーバー仮想化はVMware を活用、**サーバー資源の有効利用を実現**

モバイル・ソリューションで、ワークスタイル変革をご支援 スマートフォンなどのモバイル端末の企業向けの安全な活用をサポート



サービスの特長

- アプリケーションの一元管理
- コンプライアンス強化
- 散在する端末の把握
- 利用状況の照会・管理
- 紛失時のデータ消去
- セルフサービス・ポータルで自己管理

スマートフォンにも対応した LotusLive Notes

英語 [変更]

[LotusLive](#) [ソリューション](#) [サービス](#) [サポート](#) [Web 会議に参加](#) [ログイン](#) [LotusLive をお試しください](#)

[LotusLive について](#) [ビジネス・パートナー](#) [アプリケーション](#) [デモ](#) [営業担当へのお問い合わせ](#)

移動中も使用できる LotusLive Notes

どこで仕事をしているかに関係なく、LotusLive Notes に常に接続することができます。Blackberry、Android、Apple のワイヤレス・デバイス上で、LotusLive Notes の E メールを受け取ることができます。

[詳しく調べる](#)

機能紹介ビデオ

LotusLive Symphony の機能をご覧ください。

[ビデオ・デモ](#)

ニュース: 日本の LotusLive の最新情報をご覧ください

LotusLive について

信頼性とセキュリティ強化に重点を置いたクラウド・サービス

LotusLive では、受賞実績のあるオンライン・コラボレーション・ツール、Eメール、ソーシャル・ネットワーキング・サービスが一体となって機能します。LotusLive を利用することにより、あらゆる規模の企業が IT コストを削減し、生産性を高めて費用を節約することをサポートします。

豊富な「メニュー」からお選びください

- Eメール
- コラボレーション・ツール
- Web 会議
- LotusLive Suite
- モバイル・アプリケーション

LotusLive Symphony

ソーシャルな構築が可能になりました



連携アプリケーション

ビジネス向けに設計されたアプリケーション



モバイル・アプリケーション

外出先で会議や Eメールを利用できます



ビジネス・パートナー

ビジネス・パートナー・プログラム



 [LotusLive のパンフレット](#)

 [Facebook で探す](#)

 [Twitter でフォローする](#)

 [クラウドでのセキュリティ](#)

詳細
[LotusLive について](#)
[新機能の検索](#)
[LotusLive の比較](#)

関連情報
[ビデオ・デモ](#)
[LotusLive Labs](#)
[画面共有](#)

パートナー
[ビジネス・パートナー](#)
[デザイン・パートナー](#)
[登録](#)

サポート
[サポート情報](#)
[関連情報](#)
[IBM Software Services](#)



本日のアジェンダ

- ☑ 想定を超えた東日本大震災
 - ☑ 震災ではクラウドが活躍
 - ☑ 節電、事業継続に効くクラウド
 - ☑ 在宅勤務を支えるクラウド
- ☑ まとめ

お客様のご要望に応じて、クラウドの提供形態をご用意



提供場所	お客様データセンター	IBMデータセンター
運用管理	お客様	IBMが運用管理
資産	お客様資産	IBM資産
占有/共有	占有利用	共有利用

クラウド・コンピューティングは 企業にITの再考を促し、ビジネス手法に変革をもたらす

Cloud computing allows companies to rethink IT and reinvent the way they do business.



変化しつつあるコンピューターの経済的役割

© IBM Corporation 2011. All Rights Reserved.

ワークショップ、セッション、および資料は、IBMまたはセッション発表者によって準備され、それぞれ独自の見解を反映したものです。それらは情報提供の目的のみで提供されており、いかなる参加者に対しても法律的またはその他の指導や助言を意図したものではありません。またそのような結果を生むものでもありません。本プレゼンテーションに含まれている情報については、完全性と正確性を帰するよう努力しましたが、「現状のまま」提供され、明示または暗示にかかわらずいかなる保証も伴わないものとします。本プレゼンテーションまたはその他の資料の使用によって、あるいはその他の関連によって、いかなる損害が生じた場合も、IBMは責任を負わないものとします。本プレゼンテーションに含まれている内容は、IBMまたはそのサプライヤーやライセンス交付者からいかなる保証または表明を引きだすことを意図したもので、IBMソフトウェアの使用を規定する適用ライセンス契約の条項を変更することを意図したものでなく、またそのような結果を生むものでもありません。

本プレゼンテーションでIBM製品、プログラム、またはサービスに言及していても、IBMが営業活動を行っているすべての国でそれらが使用可能であることを暗示するものではありません。本プレゼンテーションで言及している製品リリース日付や製品機能は、市場機会またはその他の要因に基づいてIBM独自の決定権をもっていつでも変更できるものとし、いかなる方法においても将来の製品または機能が使用可能になると確約することを意図したものではありません。本資料に含まれている内容は、参加者が開始する活動によって特定の販売、売上高の向上、またはその他の結果が生かると述べる、または暗示することを意図したもので、またそのような結果を生むものでもありません。

パフォーマンスは、管理された環境において標準的なIBMベンチマークを使用した測定と予測に基づいています。ユーザーが経験する実際のスループットやパフォーマンスは、ユーザーのジョブ・ストリームにおけるマルチプログラミングの量、入出力構成、ストレージ構成、および処理されるワークロードなどの考慮事項を含む、数多くのv因に応じて変化します。したがって、個々のユーザーがここで述べられているものと同様の結果を得られると確約するものではありません。

記述されているすべてのお客事例は、それらのお客様がどのようにIBM製品を使用したか、またそれらのお客様が達成した結果の実例として示されたものです。実際の環境コストおよびパフォーマンス特性は、お客様ごとに異なる場合があります。

IBM、IBM ロゴ、ibm.comは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。

他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtmlをご覧ください。

Adobe、Adobeロゴ、PostScript、PostScriptロゴは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IT Infrastructure Libraryは英国Office of Government Commerceの一部であるthe Central Computer and Telecommunications Agencyの登録商標です。

Intel、Intelロゴ、Intel Inside、Intel Insideロゴ、Intel Centrino、Intel Centrinoロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、Pentium は Intel Corporationまたは子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windowsロゴは Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。

ITILは英国Office of Government Commerceの登録商標および共同体登録商標であって、米国特許商標庁にて登録されています。

UNIXはThe Open Groupの米国およびその他の国における登録商標です。

Cell Broadband Engineは、米国およびその他の国におけるSony Computer Entertainment, Inc.の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。